

第4回  
札幌市観光産業経済効果調査  
＜概要版＞

平成23年3月

札幌市観光文化局観光コンベンション部

# 1. 調査の目的

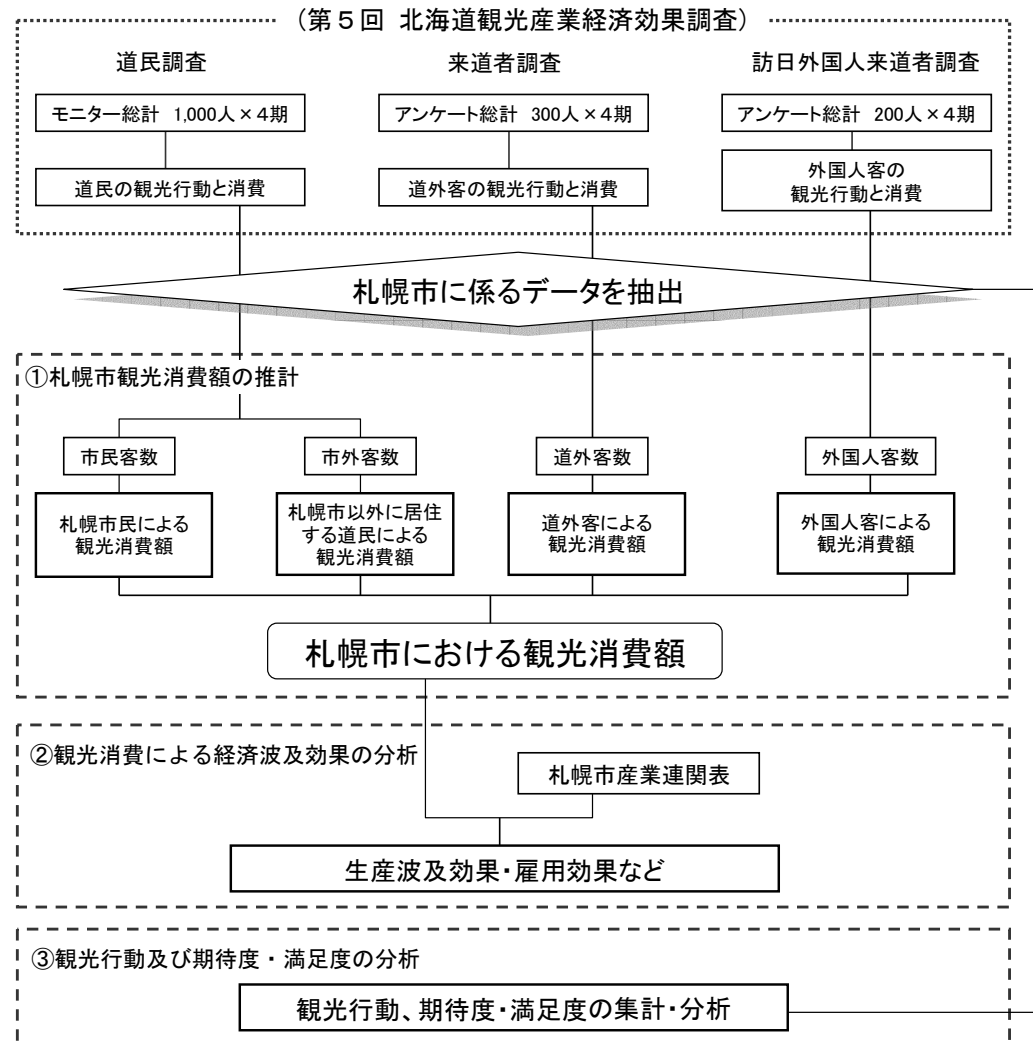
## 調査の目的

本調査は、札幌市民、札幌市以外に居住する道民、道外客及び外国人客の消費動向や動態等を把握することにより、観光経済が札幌市に与える影響を調査・分析することを目的として実施するものである。

また、観光客等の属性や動向、観光地における満足度等を調査し、多様に変化している観光客の動態やニーズを把握・分析し、札幌市における各種指標の検証や今後の計画策定の際の基礎資料を作成することを目的としている。

なお、本調査は北海道において実施する「第5回 北海道観光産業経済効果調査」と連携して行うものである。

## 調査フロー図



## 2. 調査の内容

### 調査期間

平成21年7月1日～平成22年6月30日（1年間）

調査区分	調査期間
第1期調査	平成21年7月1日～9月30日
第2期調査	平成21年10月1日～12月31日
第3期調査	平成22年1月1日～3月31日
第4期調査	平成22年4月1日～6月30日

（過去の調査期間）

回	調査期間
第1回調査	平成5年10月～6年9月
第2回調査	平成11年1月～11年12月
第3回調査	平成16年7月～17年6月

### 分析対象サンプル数

※「第5回北海道観光産業経済効果調査」のサンプルから、札幌市での消費実態のあるサンプルを抽出

区分	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
札幌市民	302	187	178	227	894
札幌市以外に居住する道民	161	109	105	85	460
道外客	58	76	83	57	274
外国人客	124	132	137	74	467
合計	645	504	503	443	2,095

## 2. 調査の内容

### 過去調査との変更点

変更点	変更内容
○サンプリング方法の見直し	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 道民調査におけるモニターの抽出方法を、これまでの電話帳抽出から住民基本台帳抽出に変更し、サンプルの偏りを平準化した。</li><li>・ 来道者調査地点をこれまでの5地点から8地点に拡大し、来道者の利用交通機関の実態に合うようにした。</li></ul>
○「共通基準」と連動した観光消費額の把握	<ul style="list-style-type: none"><li>・ これまでの1世帯当たりで算出していた道民の観光消費額を、観光入込客数との整合を図るため1人当たりで算出する方法に変更した。</li><li>・ 「共通基準」における「観光」の定義との整合を図るため、道民の旅行タイプを変更した（詳細は次頁）。</li></ul>
○訪日外国人来道者の観光消費額の把握	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 訪日外国人来道者を国内来道者とは別立てにし、新たに調査対象に加えた。</li></ul>
○地域ごとの観光消費額の把握	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 消費額だけでなく、消費した市町村や観光地を把握できるよう調査票を設計した。</li></ul>
○観光GDP等の推計	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 国や他県の分析結果を踏まえ、観光GDPや税収効果の推計を新たに実施した。</li><li>・ T S A※の考え方に基づく分析を行うため、国の調査を参考に、調査品目を35品目から61品目に変更した。</li></ul>
○推計・分析手法の改善	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 国による経済波及効果の推計方法を踏まえ、家計迂回効果（二次効果）、雇用効果等の推計方法を変更した。</li></ul>

※T S A（Tourism Satellite Account:観光サテライト勘定）とは、観光分野の国際機関であるU N - W T O（World Tourism Organization:世界観光機関）が中心となって作成した観光消費の経済効果の推計に関する国際基準。

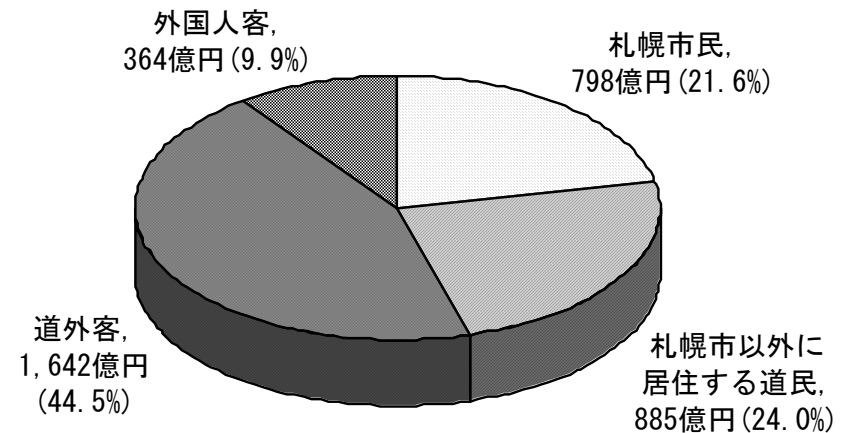
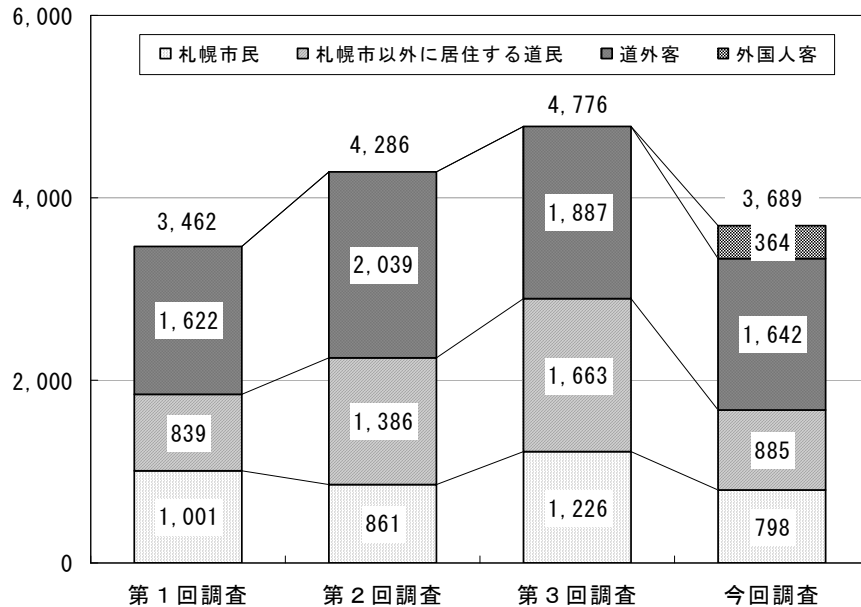
### 3. 総観光消費額

#### 総観光消費額の推計結果

区分ごとの観光消費額単価に年間観光客数を乗じて推計した総観光消費額は、3,689億円となった。  
調査方法の変更により単純比較はできないものの、前回調査と比べると1,087億円の減少となった。

区 分	観光消費額 単価 (円/人) a	年間観光客数 (万人) b	総観光消費額 (億円) a×b	構成比
札幌市民	5,584	1,429	798	21.6%
札幌市以外に居住する道民	—	776	885	24.0%
日帰り観光	7,683	556	427	11.6%
宿泊観光	20,871	220	458	12.4%
道外客	—	577	1,642	44.5%
日帰り観光	9,517	155	148	4.0%
宿泊観光	35,404	422	1,494	40.5%
外国人客	66,347	55	364	9.9%
合 計	—	2,837	3,689	100.0%

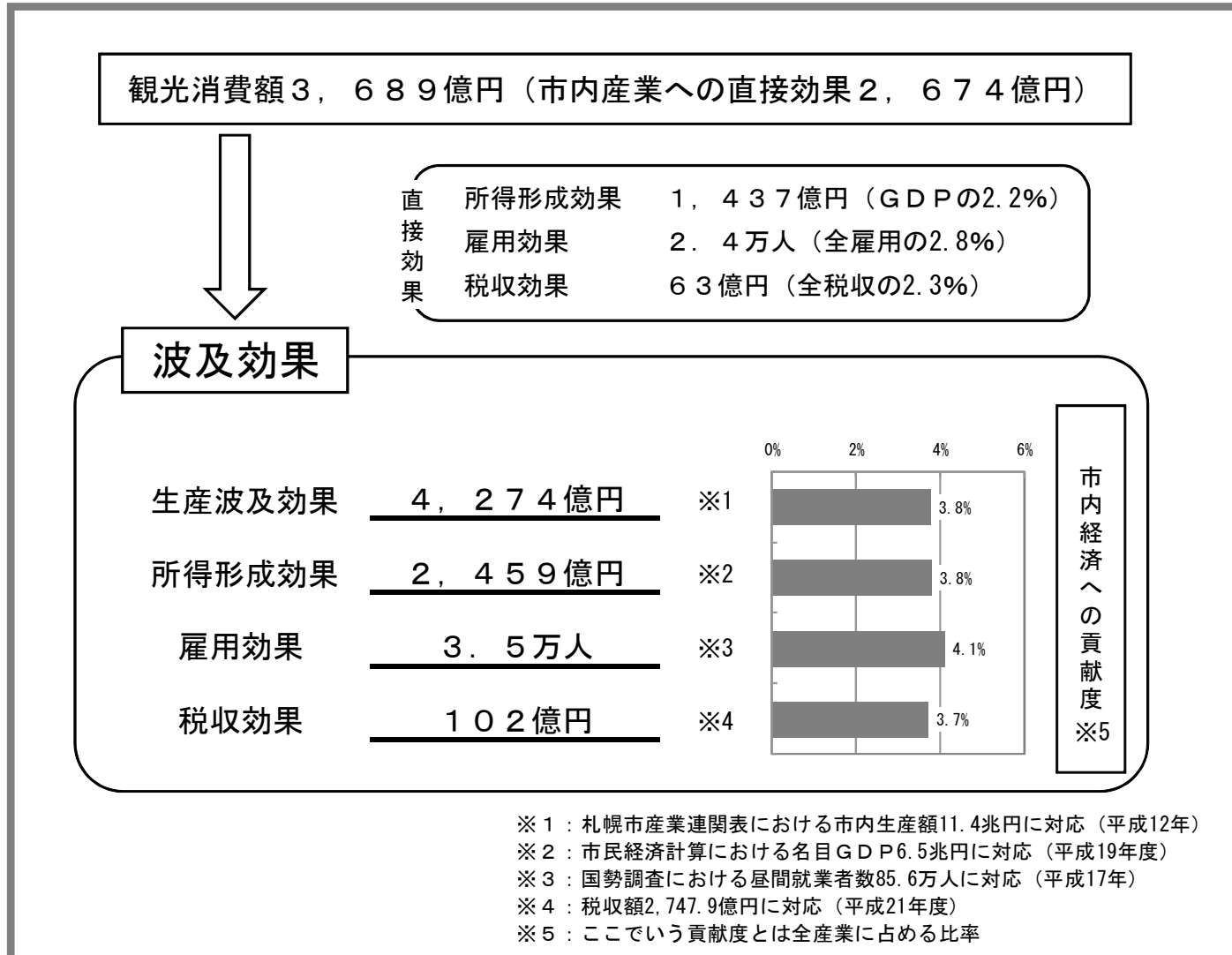
(単位：億円)



## 4. 経済波及効果の推計

### 観光消費による経済波及効果の推計結果

※「平成12年札幌市産業連関表」を使用。



# 生産波及効果とは？ ～お土産品の購入による生産波及効果の例～

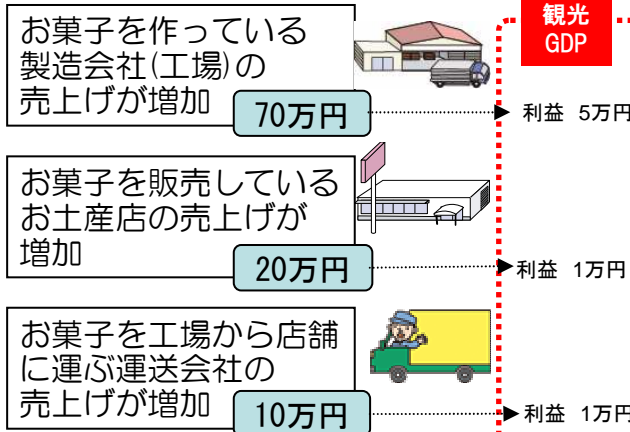
- 生産波及効果とは、ある商品やサービスの購入により、その商品を生産している産業だけでなく、他の様々な産業にも次々に波及していく効果をすべてとらえたものです。
- その効果は、主に「直接効果」「原材料波及効果」「家計迂回効果」の3つの効果に分けられます。

## 消費

観光客による  
お土産品(お菓子)の  
購入 **100万円**

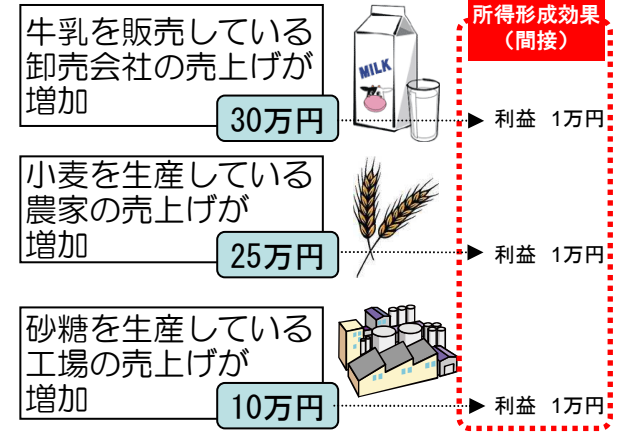


## 直接効果



直接効果は、70万円+20万円+10万円=100万円

## 原材料波及効果(一次効果)



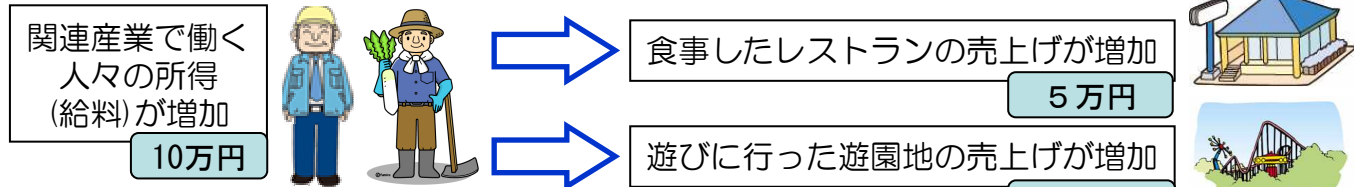
原材料波及効果は、30万円+25万円+10万円=65万円

お菓子の原材料

## 生産波及の流れ

直接効果100万円  
原材料波及効果65万円  
家計迂回効果10万円  
**生産波及効果175万円**  
所得形成効果10万円  
(観光GDP7万円+間接効果3万円)

## 家計迂回効果(二次効果)



家計迂回効果は、5万円+5万円=10万円

※この図では、イメージを単純化するため、お菓子そのものや、お菓子の原材料やその生産に必要な燃料・資源に至るまで、すべて地域内で生産されていると仮定しています。また、生産にあたって各産業の利益は全て給料として支払われるものとしています。